

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活部統計課

〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 8月

平成30年8月1日の推計人口 1,340,968人
世帯数 561,855世帯

参考：H27.10.1現在国勢調査総人口：1,377,187人、
世帯数：560,720世帯

1 推計人口

平成30年8月1日現在の推計人口は、1,340,968人で、前月(1,341,702)に比べ734人の減少となった。

市部では大村市(30)、対馬市(23)、五島市(22)の3市で増加し、長崎市(317)、佐世保市(196)、諫早市(86)、南島原市(78)、島原市(54)、松浦市(39)、平戸市(23)、西海市(20)、壱岐市(7)、雲仙市(2)の10市で減少した。

郡部において長与町(20)、川棚町(17)、佐々町(4)の3町で増加し、時津町(13)、小値賀町(6)、東彼杵町(6)、新上五島町(2)、波佐見町(1)の5町で減少した。

自然動態は、出生数875人、死亡数1,421人で546人の減少、社会動態は、転入者数3,243人(県内転入を含む)、転出者数3,431人(県内転出を含む)で、188人の減少となった。

2 世帯数

平成30年8月1日現在の世帯数は、561,855世帯で前月に比べ273世帯の減少となった。

(注)

異動人口推計 = H27国勢調査確定数 + 住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】… 6月

1人あたり現金給与総額 444,030円
対前月比 75.9%増加
対前年同月比 2.9%減少

1 賃金

6月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額444,030円で、前月に比べ75.9%増加し、前年同月に比べ2.9%減少した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は242,749円で、前月に比べ0.6%減少し、前年同月に比べ1.8%減少した。

特別給与額は201,281円で、前年同月に比べ、8,817円減少した。

2 労働時間

6月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は155.4時間で、前月に比べ2.9%増加し、前年同月に比べ4.3%減少した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は144.3時間で前月に比べ3.3%増加し、前年同月と比べ3.9%減少した。

所定外労働時間数は11.1時間で、前月に比べ2.6%減少し、前年同月に比べ10.5%減少した。

3 雇用

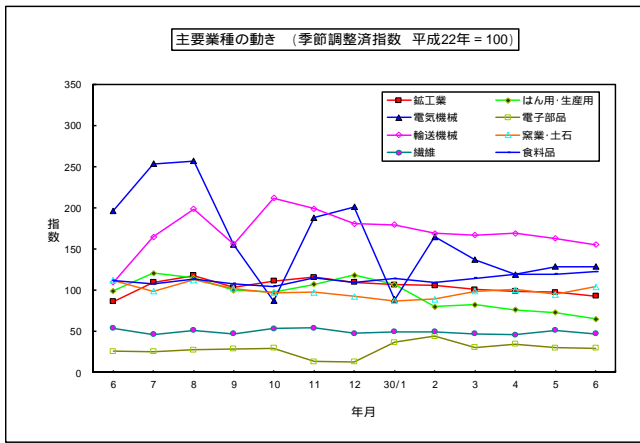
6月の常用労働者数は225,021人で、前月に比べ0.1%増加し、前年同月に比べ3.1%減少した。

【鉱工業生産指数】…………… 6月

平成30年6月の鉱工業生産指数

(平成22年=100、九州は速報値)

| 区分 | 季節調整指数 | | 原指数 | 前年同月比(%) |
|-----|--------|--------|--------|----------|
| | 指数 | 前月比(%) | | |
| 長崎県 | 92.9 | 4.7 | 93.6 | 6.8 |
| 九州 | p105.6 | p3.6 | p107.7 | p5.0 |
| 全国 | 102.5 | 1.8 | 104.8 | 0.9 |



平成30年6月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が92.9で前月比は4.7%の減、原指数は93.6で、対前年同月比は6.8%の増となった。

業種別にみると、窯業・土石製品工業、食料品工業など6業種が上昇し、はん用・生産用機械工業、繊維工業、輸送機械工業、電子部品・デバイス工業、電気機械工業など7業種が低下した。

主な上昇業種

| 業種 | 前月比 (%) | 前年同月比 (%) | 上昇に寄与した主な品目 |
|-----------|---------|-----------|-------------|
| 窯業・土石製品工業 | 9.6 | 8.9 | 生コンクリート |
| 食料品工業 | 2.7 | 9.2 | 缶詰類 |

主な低下業種

| 業種 | 前月比 (%) | 前年同月比 (%) | 低下に寄与した主な品目 |
|-------------|---------|-----------|-------------|
| はん用・生産用機械工業 | 10.8 | 33.9 | 冷凍機応用製品 |
| 繊維工業 | 7.8 | 12.8 | 織物製外衣 |
| 輸送機械工業 | 4.7 | 41.9 | 新造船 |
| 電子部品・デバイス工業 | 1.3 | 12.3 | 半導体集積回路 |
| 電気機械工業 | 0.2 | 37.5 | 開閉制御装置 |

(注) 前月比は季節調整済指数の対前月増減率、前年同月比は原指数の対前年同月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】..... 7月

| | |
|---------------|-------|
| 総合指数(H27=100) | 102.4 |
| 対前月比 (%) | 0.0 |
| 対前年同月比 (%) | 2.1 |

平成30年7月の長崎市の消費者物価総合指数は、平成27年を100として、102.4である。

前月と同水準で、主な上昇要因は「交通・通信」の+0.7%、「諸雑費」の+0.3%であり、主な下落要因は「被服及び履物」の2.1%、「家具・家事用品」の0.6%である。

前年同月比は、平成30年4月は+0.9%、5月は+1.6%、6月は+1.8%と推移した後、7月は2.1%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は102.5であり、前月比0.1%、前年同月比は+1.8%であった。

(前月との比較)

上昇した費目

| | |
|-------|------|
| 光熱・水道 | 0.1% |
| 交通・通信 | 0.7% |
| 諸雑費 | 0.3% |

下落した費目

| | |
|---------|------|
| 家具・家事用品 | 0.6% |
| 被服及び履物 | 2.1% |

【家計(長崎市・勤労者世帯)】..... 7月

消費支出(一世帯当たり) 336,404円
前月比 40,947円増(13.9%増)

平成30年7月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は336,404円で、前月比13.9%の増。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は93.0%であった。

| 主な支出内容 | 支出額(円) | 対前月増減率(%) |
|--------|--------|-----------|
| 食料 | 81,917 | 22.4 |
| 住居 | 49,954 | 60.5 |
| 光熱・水道 | 17,068 | 13.4 |
| 交通・通信 | 38,435 | 12.1 |
| 教養娯楽 | 28,191 | 25.4 |

(注) この調査は全国調査のため、長崎市における調査世帯数が少なく、結果が大きく変動することがあります。「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。